

豊島区立 熊谷守一美術館だより

2017年 春号 vol.47 <http://kumagai-morikazu.jp>



特別企画展 熊谷守一美術館

【32周年展】

5月19日(金)～

6月25日(日)

当館では年に一度、5月28日の熊谷守一美術館開館記念日を挟んで、特別企画展を開催します。

32周年を迎える今年には、所蔵作品に加えて、岐阜県中津川市付知町の熊谷守一「つち記念館から、「牛」「海の図」「つち」「かたばみにいぬのふぐり」「仁右衛門島」など油絵11点と、メナード美術館から「さくら」と「群鶏」をお借りします。



2015年秋に熊谷守一が生まれた町に新たに開館した熊谷守一「つち記念館」は、常設で60点ほどの油絵が見られる美術館です。

愛知県小牧市にあるメナード美術館も所蔵作品を中心にした素敵な企画展の多い美術館です。晩年の熊谷守一作品を多数所蔵されています。

会期中は、第1・第2展示室に加えて、3F貸しギャラリーにも展示室となります。

当館所蔵の墨絵・書・クロックキーなど、常設では展示の機会が少ない作品も多数ご覧いただけます。皆さま、お誘い合わせの上、お出かけ下さい。

特別観覧料／一般700円
高校・大学生300円、小中学生100円、小学生未満無料※豊島区在住・在勤の方は5月31日(水)までに限り証明書提示で一般500円

■月曜休館◎会期前と会期後に展示替えと展示復旧のため休館します。(5月15日(月)～5月18日(木)と6月26日(月)～6月29日(木))

守一没後40年に際して

館長 熊谷 樞

今年2017年は、熊谷守一の没後40年で、日本全国あちこちで「熊谷守一展」が開かれる。1年間に、これほど相次いで「熊谷守一展」が開催されることは珍しい。当館でも、没後40年の数えとは関係なく、毎年恒例の開館記念展を5月19日から開催し、11月下旬から来年3月まで冬期特別展も開催する。年始めに岐阜市の主催で個人所蔵の油絵が数多く展示されたと聞く。5月7日まで開催の神戸・香雪美術館では、愛知県美術館と岐阜県美術館の油絵と墨絵・書が展示され、当館からも油絵「ハルシヤ菊と百合」(寄託作品)と「自画像」(1968年2点と、墨絵・書など二十数点を貸し出している。珍しいものでは、墨で描かれた屏風「龍虎図」が展示されている。この作品は、父(モリ)とは二科会の仲間

で、鹿の絵をよく描いていたらしい濱田葆光さんが、奈良の自宅にモリを呼び寄せ、しばらく住まわせた時に描かれたものだという。濱田さんは1938年に、この時モリが描いた作品で、守一初めての墨絵個展を奈良・大阪・名古屋の3カ所で開催してくださった。

会期に合わせ、わたしも3月に香雪美術館に足を運んだが、朝日新聞社の創業者・村山龍平氏が自宅の5000坪の庭の片隅に創られた美術館は、関西財閥の豪華さを窺わせる佇まいだった。

つづいて、4月22日から5月14日にかけて、春日井市道風記念館と文化フォーラム春日井で、愛知県美術館木村定三コレクションの油絵と墨絵・書が多数展示される。更に、和歌山県の田辺市立美術館でも7月2日まで、油絵33点と墨絵・書58点がまとめて見られる守一展があるというので、米寿を過ぎたわたしもこれが最後となるかと思

い、母の実家のある南部(日高郡みなべ町)に寄りかたがた見に行くことにした。羽田空港から1時間着く白浜空港に近いそうだが、昔、母が里帰りした時は、東京→大阪は汽車で、大阪からは船で田辺に行き、更に人力車で行ったというから大変な違いだ。

母の実家(大江家)は、紀州の大地主で、子どものとき、姉と「こんな大きな家でなく、もっと小さい家に住みたいね」と話していたというが、後々モリと結婚して、東京の東中野に住んだ借家は小さ過ぎて参ったとか。現在その家は、登録有形文化財になっており、母の甥のお嫁さん大江幾久代さんが守つておられる。もう20年以上前になるが、その母の実家からは、戦前に描かれた油絵3点を寄贈していただいた。モリの絵が売れない頃、生活に困窮していた母を見かねた実家の人が買ってくれたものらしい。今も当館の展示室にしっかりと飾られている。

年の瀬、12月1日から来年の3月21日まで、東京国立近代美術館で油絵を中心に約200点が展示される大展覧会の予定もある。熊谷守一作品がお好きな方々、よく場所と日時を確かめて、可能な限りご覧になれることをおすすめします。(2017年4月15日)

香雪美術館

【没後40年 熊谷守一展】お前百までわしやいつまでも! 3月11日(土)～5月7日(日)まで開催 ※公式ホームページから出品リストを見ることが出来ます。(観覧料)一般800円/高・大学生500円/中学生以下無料(電話)078-844-10652(住所)兵庫県神戸市東灘区御影群家2-12-1

文化フォーラム春日井と

春日井市道風記念館

【特別展 熊谷守一展】木村定三コレクションより! 4月22日(土)～5月14日(日)まで開催 ※かすが市民文化財団の公式ホームページのイベント情報に詳細が出ています。【観覧料】2会場セット券900円/大学生以下無料(電話)0568-851-6868(かすが市民文化財団 愛知県春日井市鳥居松町5-44) 両館を「観覧」になるにはお車でもわられるか、JR中央本線(春日井駅)からそれぞれの施設行きのバスが出ているようです。



田辺市立美術館

【特別展 熊谷守一 書と絵と肖像】4月22日(土)～7月2日(日)まで開催(電話)0739-241-3770(住所)和歌山県田辺市たきない町24-143

東京国立近代美術館

【没後40年 熊谷守一展(仮称)】12月1日(金)～2018年3月21日(水・祝)まで開催(電話)03-5777-8600(八口・ダイヤル)東京都千代田区北の丸公園3-1-1

3F ギャラリーの予定

石田説子個展

5月9日(火)～5月14日(日)

森岡成好展

7月4日(火)～7月9日(日)

金曜デッサン会

5月12日までは毎週開催します。翌5月19日から7月14日まで9回連続でお休みとなります。お気をつけください。なお7月21日から11月17日までは休まず毎週開催します。

豊島区立 熊谷守一美術館だより

2017年 春号 第47号

- 休館日/祝祭日問わず月曜日(年末年始休館)
- 開館時間/午前10時半から午後5時半まで(常設展示室のみ金曜日は午後8時まで)
- 住所/東京都豊島区千早2-27の6
- 電話/03-3957-3779
- 常設展観覧料/一般500円、高・大学生300円、小・中学生100円、小学生未満無料(障害者手帳提示の方は100円(介助の方1名無料)※特別企画展は料金異なります。)
- ◎タクシー/JR池袋駅西口より「区間環線」
- ◎バス/池袋駅西口バスターミナル「要町循環」
- ◎ピックアップ前乗り乗車または「日大病院行」(芸術劇場前から乗車)「要小学校」で下車徒歩5分→右に進み要小学校正門を越えた角を左折→案内に従ってお越しください。
- ◎地下鉄/東京メトロ有楽町線「副都心線の要町駅出口1番から徒歩10分程」→「要小学校」を目指し大通りを直進→要小学校正門を越えた角を左折→案内に従ってお越しください。
- 発行/株式会社権指定管理者 代表 熊谷樞
- 第1版/2017年4月28日発行(2000枚)